

■このプリントは、「文章検」を受けた皆さんの今後の学習の手助けになるものです。3級レベルの内容を復習して実力を確かなものにし、さらに上の準2級レベルの内容にもチャレンジしてみましよう。  
■問題と解答用紙は別になっています。自己採点して、間違えた問題は「学習の手引き」や「考えるヒント」を参考に復習してください。

学習の手引き

問1 文脈上適切な語句を選ぶときには、意味だけでなく用法(使い方)にも注意しよう。

▼次の問題にも挑戦してみよう  
公式テキスト3級 6～14ページ  
文章カステップ3級 6～17ページ

問2

資料読解の問題を解くときには、文章とデータを対照させて読むことが必要である。また、書き手の主張を読み取ることも忘れてはならない。  
空欄を埋める問題では、データを正しく読み取ると同時に、文章の展開にも気を付けよう。

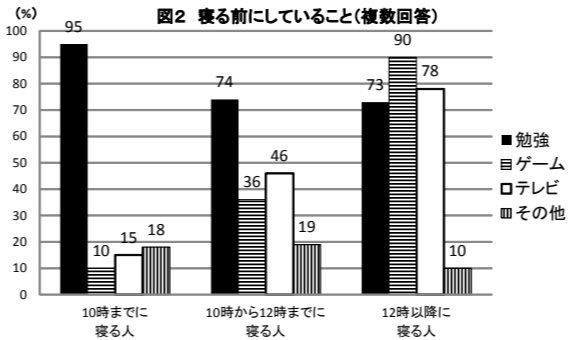
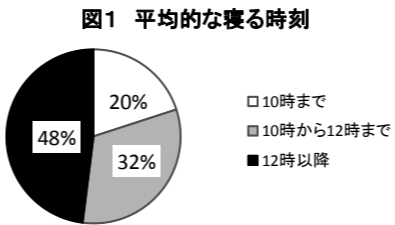
▼次の問題にも挑戦してみよう  
公式テキスト3級 21～26ページ  
文章カステップ3級 18～27ページ

基礎問題

- 問1 次の1～3について、文脈上最も適切な語句を、ア～ウのうちから一つずつ選びなさい。
- 1 本番を明日に控えて、舞台練習は一時から(ア) 五時は (イ) 五時に (ウ) 五時まで) ぶっ続けで行われた。
  - 2 この研究室では、実験に実験を重ね、試行錯誤を(ア) 繰り返しながら (イ) やり直して(ウ) 積んで) 新技術の開発を行っている。
  - 3 思い出してみれば、去年の今ごろは毎日友人とともにアルバイトに(ア) 汗を流すのだ(イ) 努力を払っているのだ (ウ) 精を出していたのだ。

読解問題

問2 次のX中学校の生徒会役員が書いた文章です。これを読んで後の問いに答えなさい。



上の二つの図は、X中学校の3年生の寝る時刻と寝る前の行動に関するものである。図1は平均的な寝る時刻、図2は寝る前にどのようなことをしているかを、寝る時刻別に示した結果である。

図1を見ると、最も多いのは「12時以降に寝る人」で全体の半分近いが、最も少ない「10時までに寝る人」は全体の①しかいないことがわかる。次に、図2に示したように、どの時間帯でも寝る前に「勉強」をしているという回答が多く、特に「10時までに寝る人」の場合、95パーセントを占めている。一方「12時以降に寝る人」の場合、勉強も73パーセントと少なくない。しかし、ゲームが90パーセント、テレビが78パーセントとなっていて、②。

人間は睡眠時間を7時間以上とる必要があるとの説があるが、そうだとすれば朝7時に起きる場合、12時までは寝なくてはならない。12時以降に寝る人は睡眠時間が足りないと思われる。実際、授業時間に居眠りをしている人も時々見かける。ゲームやテレビは楽しくてつい夜ふかしをするのもわかるが、それらは休日に楽しむことにして、平日は学校生活に直接必要な勉強を優先して行い、早めに寝るべきである。

1 空欄①に入る内容として最も適切なものを、ア～ウのうちから一つ選びなさい。

- ア 三分の一
- イ 四分の一
- ウ 五分の一

2 空欄②に入る内容として最も適切なものを、ア～ウのうちから一つ選びなさい。

- ア 二つ合わせると100パーセントを超える。夜ふかしする人は、勉強よりもゲームをしたりテレビを見たりする方が大切だと考えていることが明らかだ
- イ 勉強よりも高い数値が出ている。夜ふかしする生徒の多くは勉強以外にゲームをしたりテレビを見たりするといった遊びも行っているのである
- ウ 多くの生徒がゲームをしている。しかし、だからといって宿題をないがしろにしているわけではないので寝る時間は何時でもいいはずだ

3 本文の書き手の主張として最も適切なものを、ア～ウのうちから一つ選びなさい。

- ア ゲームをしたりテレビを見たりするなどの遊びは休日を中心に楽しみ、平日は学校生活に直接必要な勉強を優先して行い、早めに寝るべきである。
- イ 寝る時刻と寝る前の行動について見ると、寝る時刻によって寝る前の過ごし方が違うから、平日は早めに寝るべきだ。
- ウ 授業時間に居眠りする人は、寝る前にゲームをしたりテレビを見たりしている。こうしたことは休日に楽しんで、平日はたくさん睡眠時間をとるべきだ。

◆うらへ続く◆

考えるヒント

- 問1
- ◆1 何時から何時〇〇 「ぶっ続けで」の終わりを示すのはどれ?
  - ◆2 「試行錯誤」といっしょに使えるのはどれ?
  - ◆3 意味だけでなく文法上も正しいものを選ぼう。

問2

- ◆1 円グラフの読み取り ・%を分数に置き換える。
- ◆2 事実とそれに対する考えの両方が適切なものを選ぶこと。ウの「宿題をないがしろにしている」かどうかは、このグラフから判断できる内容だろうか。
- ◆3 書き手の主張をとらえる。 本文の中で書き手が述べていることに注目しよう。 アイウともに、平日は早めに寝て睡眠時間を十分にとることを呼びかけている。 前半部分に注意して読もう。 イは「寝る時刻によって寝る前の行動が違う」から「平日は早めに寝るべきだ」と述べている。理由と考えが合っていないので、適切ではない。 ウでは「居眠りする人は寝る前にゲームをしたりテレビを見たりしている」と述べているが、本文では「授業中に居眠りする人がいる」としか述べていない。これでは書き手の主張を正しくとらえていると言えない。

作成問題1(手紙文)

問3

頭語と結語は、使う言葉がセットで決まっている。セットで覚えておこう。

問4

文章をわかりやすく書くための練習問題。

わかりにくい文章の一つに、多くの内容を一つの文に詰め込んだものがある。一つの内容ごとに文を分けて書くようにしましょう。

▼次の問題にも挑戦してみよう

公式テキスト3級 28～31ページ  
文章力ステップ3級 46・47ページ

問5

3級の意見文は、「事実」「意見」「理由」という順序で書く。「理由」では、「意見」が正しいことを筋道立てて説明する。読む人を説得できる内容を考えよう。

問6

意見文で自分の「意見」を決めるときにも、「事実」を集めるときにも、「ブレイン・ストーミング」が役に立つ。

公式テキストや文章力ステップに書いてある方法で、楽しみながら練習しよう。

▼次の問題にも挑戦してみよう

公式テキスト3級 40～48ページ  
文章力ステップ3級 52～67ページ

作成問題2(意見文)

問3 頭語に「前略」を使う場合、結語として正しいものを、ア～エのうちからすべて選びなさい。

- ア 敬具
- イ 草々
- ウ 拝啓
- エ 不二

問4 次は手紙の中の1文です。長すぎてわかりにくくなっているので、内容ごとに4つの文に切ります。その切れ目を、ア～カのうちから選び、1、2、3の解答欄に順番に書きなさい。

小学生のころから興味があったオーディオ機器には、ある程度の知識があるつもりでしたが、実際の売り場では、お客様の質問に答えられないことが何度もあるたび、先輩に助けていただいたことから、だれかに説明するためには、それについてしっかり学んでおく必要があると痛感しました。

作成問題2(意見文)

問5 次の意見を支える「理由」として最も適切なものを、ア～ウのうちから一つ選びなさい。

意見 「試験勉強をするときは、グループで勉強した方がよい」

- ア なぜなら、グループで試験勉強に取り組むと他の人の進み具合が気になってしまい、自分が遅れていると気持ちが悪くなるからだ。
- イ なぜなら、グループで勉強をすると、互いの勉強ぶりを見ることで競争心が生まれ張り合いが出てきて、勉強の成果が上がるから多いからだ。
- ウ なぜなら、一人で試験勉強に取り組めば、他人のペースに合わせる必要はなく、自分のペースで進めることができるからだ。

問6 「試験勉強をする際、グループではなく一人で勉強するとよい」という意見について、「賛成の理由」と「反対の理由」を思いつくままに箇条書きで書き出さない。(7個以上)

意見 「試験勉強は、グループではなく一人で勉強するとよい」

- 手がかり
- ・ 「グループで勉強する」と「一人で勉強する」のどちらが好き？ その理由は？
- ・ 試験勉強をする場面を思い出してみよう。
- ・ 友達といっしょに試験勉強したことはなかったか？ うまくいった？ その理由は？
- ・ グループで勉強していて、一人の方がよかったと思ったことはない？ その理由は？
- ・ グループで勉強していて、いやだなと思ったことはない？ それはなぜ？
- ・ グループで勉強していて、快適だと思ったことはない？ それはどんなとき？
- ・ 友達やきょうだいは試験勉強を一人でする方がいいと言っていた？ グループがいいと言っていた？
- ・ 先生が試験勉強のやり方について何かおっしゃっていなかったか？

考えるヒント

問3

「前略」は時候のあいさつ・安否のあいさつなどを省略する場合に使う頭語。

結語は「草々(早々)」「不二」などがセットになる。

問4

内容は次の四つ。

- ・ オーディオ機器の知識はあるつもりだった
- ・ 実際は質問に答えられないことがあった
- ・ 先輩に助けてもらった
- ・ だれかに説明するにはしっかり学ぶ必要があると痛感した

問5 「試験勉強するときにはグループで勉強した方がよい」という意見の理由を説明するには、次のいずれかの観点から内容を述べるとよい。

- ・ グループで勉強することの長所
- ・ 一人で勉強することの短所

問6

ブレイン・ストーミングのコツ

- ・ それと似た状況はないか
- ・ それと反対の状況はないか
- ・ それがなかったら、そうしなかったらどうか

以上も手がかりとして使える。